

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 緩和ケア病棟入院患者の Integrated Palliative care Outcome Scale(IPOS)による評価

[研究責任者]総合研修センター 上田 桃子

[研究の背景]

緩和ケアにおいて、患者に対するケアの質を評価するツールとしての Integrated Palliative outcome care Scale (IPOS)*の活用は、患者と医療者のコミュニケーションが促進され、患者の気がかりや苦痛の把握ができ、スタッフへの教育的効果があることが示されている。しかし、日本の緩和ケア病棟での IPOS スコアの集計報告は少ない。当院の緩和ケア病棟では入院した全患者に対し IPOS スコアの評価を行っている。この IPOS スコアをもとに、どのような症状で患者の苦痛が生じているのかを調査し、臨床に活用する。

*IPOS

従来、医療者側から患者の苦痛症状評価を行っていたが、患者目線の評価が必要であると考えられ誕生した評価方法。患者・家族の心身の状況やチームケアの機能を確認して、現在提供しているケアの質を評価するツールとして期待されている。

[研究の目的]

今回、緩和ケア病棟入院患者に IPOS による評価を行い、患者がどのような症状で苦痛を感じているのか調査する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2021年4月1日から2022年3月31日までに岡崎市民病院緩和ケア病棟へ入院した患者さん

●研究期間：西暦2022年8月26日～2022年11月12日

●利用する検体、カルテ情報

検体：通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。

カルテ情報：IPOS 質問紙のスコア結果

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は日本緩和医療学会東海・北陸支部学術大会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である上田桃子が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

岡崎市民病院 総合研修センター 上田 桃子

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913